性教育フォーラム

街頭から見えてきた子どもたちの心の闇と「性」の現状

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　全国こども福祉センター　事務局長　荒井和樹

質問への回答です！

＜活動について＞

・声掛けの際気を付けていることはなんでしょうか。

目線や姿勢に気を付けています。初対面で、タバコや飲酒行為などの非行を注意しても関係が遮断されてしまいます。まずは、相手と同じ目線に立ち、「注意」ではなく近所の世話好きなおばさんや同級生の声掛けをイメージして、気さくに声をかけるようにしています。

 ＜サイト・アプリについて＞

・女子生徒が利用しているサイトとアプリは大人が利用することはあるのでしょうか。

　あります。少年少女にもならず、大人も寂しい、認められたい気持ちから利用し、援助交際やトラブルの原因となっています。

・子どもたちはサイトやアプリをどのようにして知るのでしょうか。

　子どもたち同士の口コミやメディアが大きいです。またゲームや掲示板・ブログと一緒になっているものもあり、ＬＩＮＥを始め、便利ツールとして使用されています。その種類も無数に及びます。広告や検索でも上位にあがってきてしまい、誰でも知ることができるのです。

 ＜その他＞

・子どもたちをだまして悪い方向へ導いている人たちを減らすにはどうしたら良いのでしょうか。

　教育を受けられない子ども若者が居るということ。社会で馴染めない、裏社会でなければ認めてくれず、活躍できない現状があり、騙してでもビジネスで成功したい。余裕がない。そんな大人が見本となっています。子どもが健やかに育つには環境整備が重要です。

講演でも話しましたが、「騙す」というより、学校や家庭でカバーできない部分を表社会の力量不足で「担い手」となれず、裏社会やビジネス重視の大人がセーフティーネット（担い手）となっています。

また、法制度の充実はもちろん、厳罰化もある程度有効だと思います。

・誰にでもある心の闇の原因にはどんなことが考えられますか。

　将来への不安・劣等感やコンプレックスです。何歳になってもどんな人でも、愛されたい気持ち、認められたい気持ちがあります。情報社会で周りが見えやすくなり、プライベートも仕事も比較しがちになります。妬みや嫉妬、孤独感を感じやすくなってきたと思います。

その他、質問などが御座いましたら、以下の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

①メール：　k0domo@yahoo.co.jp　　／　②電話&FAX：　052-364-6228

③SNS（Facebook）：　荒井和樹／　もしくは特定非営利活動法人全国こども福祉センター